

## 質問書回答

2016年 6月 13日

「(案件名:2016年度案件別外部事後評価:パッケージ I -7(スーダン、南スーダン、ルワンダ)」  
(公示日:2016年6月1日/公示番号:160352)について、質問の回答は以下のとおりです。

| 通<br>番 | 当該頁項目  | 質問   | 回答  |
|--------|--|--|---|
| 1      | P.21 (7)および P.24 詳細分析の経費について                 | <p>(1) 詳細分析のための追加 MM については、有識者に詳細分析を実施してもらうための経費として考え、有識者の人件費・直接経費として計上(別見積)をすることでよいのでしょうか(実際に有識者も現地調査に同行し、詳細分析の情報を収集し分析してもらうことを提案したいと思っております)。その場合、その他の原価、一般管理費も別見積の中で計上するのでしょうか。それともこれらは計上できないのでしょうか。</p> <p>(2) また、有識者の人件費単価の目安(●号相当)はあるのでしょうか? 通常のコンサルタントの目安(大卒xx年以上)で計上すればよろしいのでしょうか?</p> | <p>(1) 追加 MM については、ご理解の通りです。また、別見積については当該業務に係る全ての経費(直接経費、直接人件費、その他原価、一般管理費等)を計上してください。</p> <p>(2) 業務従事者として有識者がコラム執筆を行う場合の人件費単価については、コラムのテーマや有識者の経験に鑑み、「コンサルタント等契約に係る業務従事者の格付けの認定基準」をもとに提案ください。</p>                |
| 2      | 業務指示書<br>第3業務実施上の条件<br>「3. 業務の目途」に関する記述(24頁) | <p>(1) 「有識者等による詳細分析等を追加する」場合について、「この提案に係る経費(直接経費および直接人件費については別見積とする」とありますが、「総括」がこの詳細分析も担当する場合でも、「追加業務量(1案件につき0.58M/M)」や追加航空運賃に関して、本体の見積書と同様のフォーマットを使って別の見積書を作成するということがよろしいのでしょうか。</p> <p>(2) また、この作業量は、「傭人費」ではなく「直接人件費」として計上せよ、ということでしょうか。また、「直接人件</p>   | <p>(1) 業務指示書 22 ページ「4. 業務従事者の構成(案)」に示す業務従事者が詳細分析を担当する場合でも、業務指示書 23 ページに記載のとおり 0.58M/M を目安として業務量の追加は可能です。その場合、追加業務量に係る経費は別見積としてください。ただし、詳細分析を業務従事者が行う場合は、業務指示書(共通条項)「4. 業務の内容」に定める2回の現地調査で必要な情報を収集することを基本とし、現地</p> |

| 通番 | 当該頁項目  | 質問   | 回答   |
|----|--|--|--|
|    |  | <p>費」に計上した場合、本体の見積作成の際と同様に、一定比率の「その他原価」や「一般管理費等」は計上すべきなのでしょうか。あるいは計上してもしなくても良く、その判断は応札者にゆだねられている、ということでしょうか。</p>   | <p>調査の回数を追加することは原則想定していません。</p> <p>(2) 詳細分析を行う有識者が調査対象国の人材である場合は、直接経費のうち一般業務費において特殊備人費として計上することが可能です。本邦の人材が詳細分析を行う場合は、直接人件費での計上をお願いします。別見積については当該業務に係る全ての経費(直接経費、直接人件費、その他原課、一般管理費等)を全て計上してください。</p>                 |
| 3  | <p>P.20「第2 業務の目的・・・」<br/>3.(4)<br/>スーダン「北部・・・」については首都近郊に位置する40校を対象としていることから・・・</p> | <p>本案件での直接の対象はSCVTA傘下のVCT5校(+連携案件のVCT)だったと思われませんが、40校というのは研修(第三国研修も含め)に参加した全国のVCTと言う事でしょうか？また、配布資料の中に、この40校がどこであるか示されたリストが見当たらないのですが、何処を対象としていたかリストを配布していただけないでしょうか。</p> | <p>直接の対象はVCT5校ですが、その後州立VCTや訓練プロバイダー等が加わり、40校程度あると想定しています。ただし40校全てが研修に参加したかどうかは現時点では確認できないため、契約締結後、受注者に現地調査補助員等を通じて確認をしていただくことを想定しています。40校のリストは内部資料につき配布はできませんが、これら40校の主な所在地としてAl-Khartoum、Omdurman、Bahriとなっています。</p> |

以上